

# ワインは 2019年度 実践女子大学 研究成果公開促進費による、公開シンポジウム

## 芸術や文化に何を もたらしてきたのか



2019年

10月26日(土) 14時~17時10分

実践女子大学 渋谷キャンパス 120周年記念館 8階 804教室

司 会 東京藝術大学 美術学部准教授 林卓行

研究代表 挨拶 (14時~14時05分) 実践女子大学文学部教授 椎原伸博

### 基調講演 14時05分~14時25分

●実践女子大学文学部 教授 椎原伸博

「現代アートにおける創造的行為としての「食」とは何か？」

### パネル発表 14時30分~16時

●14時30分~15時 北海道教育大学 芸術スポーツ文化学科 教授 柴田尚

「北海道空知ーシャンパーニュ~地域をつなぐアートとワイン」

●15時~15時30分 東京家政大学家政学部 准教授 曾根博美

「イタリア・トスカーナ地方のワイナリーにおける  
芸術支援についてーオルネライアの取り組みについてー」

●15時30分~16時 首都大学東京都市環境学部 准教授 鳥海基樹

「ワインスケープ 味覚を超える価値の創造」

休憩 16時~16時10分

### パネルディスカッション 16時10分~17時10分

ディスカッサント

●東京芸術大学大学院 国際芸術創造研究科 准教授 住友文彦

●千葉大学教育学部 准教授 神野真吾



#### パネリスト プロフィール

柴田 尚(しばた ひさし)  
特定非営利活動法人S-AIR代表  
北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科教授

NPO法人S-AIRの代表として、20年間に36カ国99組以上の滞在製作に関わる。2014年度、北海道教育大学岩見沢校教授となり、空知地区の新地産産物ワイナリーにおけるニューウォールルクの滞在製作「空知遊覧」(2016~18)を企画。共著に「指定管理者制度で何が変わるのか」(水曜社)「廃校を活用した芸術文化施設による地域文化振興の基本調査」(共同文化社)がある。2008年、代表を務めるS-AIRが国際交流基金地球市民賞受賞。2016年、北海道文化奨励賞受賞。

曾根 博美(そね ひろみ)  
東京家政大学家政学部 准教授

1990年代の東京にてライター、評論、キュレーションで活動したのち、渡米。アート・マネジメントをしつつ、ロサンゼルス福祉事務所にてソーシャルワーカー/メンタルヘルスセラピストとしてDV、ホームレス、児童虐待に取り組む。同時にリトル東京のコミュニティ・スペース「ファーイーストラウンジ」プログラムコーディネーターとしてコミュニティを強化するためのアートプログラムを企画。2018年より東京家政大学造形表現学科准教授。米国カリフォルニア州臨床心理療士。

鳥海 基樹(とりうみ もとこ)  
首都大学東京都市環境学部 准教授

1969年生まれ。首都大学東京准教授。2001年フランス国立社会科学高等研究院 (EHESS) 博士課程修了 (Docteur (études urbaines))。2004年日本ソムリエ協会ワインエキスパート。2015年サン・テミリオンを含むフランスの文化財保護研究で日本イコモス奨励賞。2016-2017年EHESS客員研究員。近著に『ワインスケープ-味覚を超える価値の創造』(水曜社、2018年)。